

【第16回 薬学教育協議会 衛生薬学担当教員会議】

1. 日時： 2021（令和3）年11月8日（月） 16時30分～18時00分
2. 方式： Google meet を用いたオンライン会議
3. 出席者： 133名（73大学（75学部））（一部参加者を含む）
4. 議題
  - ・薬学モデルコアカリキュラム改訂に向けての進捗状況の紹介ならびに意見交換
5. 会議報告

6年制薬学教育制度調査検討委員会・学修領域（衛生薬学）検討小委員会をつとめている和歌山県立医科大学の平田収正先生から、現在進められている薬学モデルコアカリキュラム改訂の進捗状況についてご紹介いただいたあと、モデルコアカリキュラムの改訂に関し、平田先生との質疑応答、意見交換を行った。衛生薬学担当教員会議内で、今後もこの改訂について意見交換を続けていくこととなった。

【薬学教育協議会 衛生薬学担当教員会議 メール会議】

2022（令和4）年3月末に、幹事会を実施し、幹事会で決定した以下の点について、各大学の衛生薬学担当教員にメール配信した。

- (1) 2022（令和4）年3月7日に開かれた「薬学教育モデル・コア・カリキュラム改訂に関する専門研究委員会」の配布資料として公開されている「大項目A～Gと中項目、小項目のリスト（案）」、「薬学教育モデル・コア・カリキュラム（素案）」（特に「E：衛生薬学・公衆衛生薬学」）について、個々の衛生薬学担当教員から意見を出していただき、衛生薬学担当教員会議として、意見をまとめていくこととする。
- (2) 本会議の世話人代表は、2022（令和4）年度から近畿大学・川崎直人教授に交代することとする。
- (3) 本会議の幹事に、2022（令和4）年度から、名城大学の神野透人教授を加わっていただく（2022（令和4）年度の幹事：小椋康光（千葉大）、香川聡子（横浜薬大）、川崎直人（近畿大）、神野透人（名城大）、中西剛（岐阜薬大）、原俊太郎（昭和大）、松沢厚（東北大）、渡辺徹志（京都薬大））。

なお、2022年度の活動計画については、来年2月頃に新コアカリを踏まえて担当教員と意見交換する機会を設ける。

（文責：原 俊太郎）